

1 管内の略図



2 管内の概要

可茂保健所管内は、可茂地域といわれる美濃加茂市、可児市、加茂郡（坂祝町・高加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村）及び可児郡（御嵩町）の2市7町1村から構成されている、面積834平方km、世帯数81,784世帯、人口221,709人（平成27年10月1日現在）の地域である。

可茂地域は岐阜県の中央南部に位置し、北東部には緑豊かな中山間地域、南部には濃尾平野の北東部に属する平坦地が広がっている。管内を木曾川とその支流である飛騨川が流れ、飛騨川沿いに山間地から丘陵地へと続き、流域の一部は国定公園に指定されている。

気候は、太平洋型で比較的温暖多雨である。

交通は、鉄道（JR高山線、JR太多線、名古屋鉄道、長良川鉄道）や国道（21号、41号、248号、418号）、及び東海環状自動車道等が整備されており、愛知県方面へのアクセスが良い。

管内の全事業所及び従事者数は、9,501事業所及び98,148人（出典：総務省統計局「平成26年経済センサス基礎調査」）である。従業者には外国人が多く、多文化共生社会の実現に向けた取り組みが官民を挙げて行われている。

商業では、郊外型大規模小売店が進出する一方で、従来の商店街は空き店舗が多数見受けられる等衰退傾向にある。

農業は、経営規模の小さな兼業農家が多く、林業は良質なスギ・ヒノキの産地であるが、木材需要の低迷や価格低下により厳しい現状にある。特産品としては、白川茶・蜂屋柿等がある。

観光等では、飛騨木曾川国定公園（木曾川・飛騨川沿いの奇岩・溪谷美）等を中心に多くの名勝・史跡を有している。また、市街地を中山道が通り、太田、伏見、御嶽の各宿を中心に、旧太田宿脇本陣をはじめとする古い町並みや寺社、等多数の文化財を有している。